

資料提供  
令和4年2月4日  
担当：広島県対策本部  
担当者：新型コロナウイルス  
感染症対策担当  
西川  
直通：082-513-3068

## 新型コロナウイルス感染症（オミクロン株「BA.2系統」） の患者の発生について

県内で発生した新型コロナウイルス感染症の患者について、県立総合技術研究所保健環境センターでゲノム解析を実施した結果、現在、主流となっているオミクロン株の一種で、別系統の「BA.2」が、県内で初めて1例確認されました。

オミクロン株「BA.2系統」は、全国的に広まっているオミクロン株「BA.1系統」より感染力が高い可能性が指摘されており、引き続き、ゲノムサーベイランスにより発生動向を監視していくこととしています。

### 1 オミクロン株「BA.2系統」の患者の概要

No	年代	居住地 (保健所管轄)	症状経過	備考
1	30	広島県内 (東部)	1月中旬 発症	海外滞在歴あり

### 2 ゲノム解析状況（令和4年1月7日～2月3日実施分、県内全体）

検体採取日 (令和4年)	ゲノム解析 実施検体数※	ゲノム解析結果（割合）			(参考) 判定不能 検体数
		オミクロン株		デルタ株	
		BA.1系統	BA.2系統		
1月5日～1月11日	142	139 (97.9%)	0	3 (2.1%)	1
1月12日～1月18日	46	44 (95.6%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)	0
1月19日～1月25日	27	27 (100%)	0	0	4
計	215	210 (97.7%)	1 (0.4%)	4 (1.9%)	5

※ 判定不能検体を除く。

#### お願い

報道機関各位におかれましては、感染症法の精神に基づきプライバシー保護及び風評被害、患者・御遺族等の人権尊重・個人情報の観点から、提供資料の範囲内での報道に格段の御配慮をお願いします。